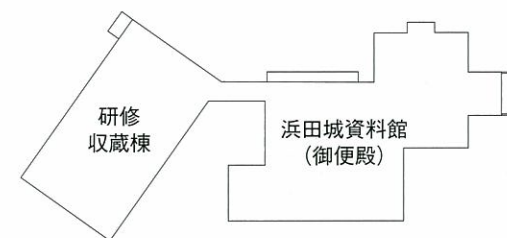


浜田城資料館の一目も早い完成を



今、当地方の「歴史のお宝」が各地から寄せられています。
次代のために、歴史的建造物「御便殿」を資料館に!

浜田城資料館に研修収蔵棟を併設



北前船模型
浜田郷土資料館所蔵

貿易

18世紀以降浜田城下町に活気をもたらしたのが北前船です。港は外ノ浦・長浜・瀬戸ヶ島にあり、その周囲には物資の集散機能をもった廻船問屋が並び、得意先を記した客船帳には当時の流通の活発さがうかがえます。



諸国御客船帳
浜田郷土資料館所蔵



北前船金庫
兵庫県西宮市在住の藤長家寄附品

浜田市の歴史は古代・中世・近世と石見の中心的役割

古代は… 下府に石見国府柿本人麻呂が国司として赴任

中世は… 周布氏唯一日本海側で朝鮮王朝より認められ貿易を

近世は… 浜田藩誕生後も

石見の中核都市として発展。

その資料数多く、浜田城資料館で
収集・保管・展示を!



①⑦三重県名張市在住の岩田家寄託品

①袴・長着

②兜・鎧

③家紋付陣笠

④陣羽織

⑤印籠

⑥馬具

⑦刀剣

籠手

火縄銃

茨城県土浦市在住の岸家寄附品

茨城県土浦市在住の岸家寄附品

自焼退城断腸の譜

幕末の風雲、我が藩に利あらず
浜田城下の民に、戦火の苦衷与
うること忍びなし
武士(もののふ)なれど、刀槍
を納め自ら城を焼き退かん
これ断腸の思ひなり
我ら同胞(はらから)異境にて
故郷を偲ぶ

◆◆◆明治23年建立藩士の殉難の碑◆◆◆



建立地 岡山県津山市桑下 1510 番地 1

浜田藩士の子孫の方々は、美作濱田会を結成。毎年四月に、この地で神事、総会を執り行って先祖を偲んでおられます。



浜田藩(六万一千石)の飛び地があった

浜田藩が第二次長州征伐後に移っていった、岡山県津山市桑下にある鶴田藩(旧浜田藩)藩主松平武聡の居館である西御殿跡。

◆◆◆浜田藩時代の古文書・書籍・書・絵図等・360点以上◆◆◆

浜田藩16代城主松平武揚書 浜田郷土資料館所蔵

浜田藩家老岡田頼母書 浜田郷土資料館所蔵



古文書
茨城県土浦市在住の岸家寄附品



書籍
埼玉県川越市在住の浅野家寄附品



絵図
埼玉県川越市在住の浅野家寄附品